

## 幼児期の学びに向かう力の育ち



ベネッセ教育総合研究所  
次世代育成研究室室長／主席研究員 高岡 純子

私が所属する研究室のメンバーは、全員ワーキングマザーです。毎日、夕方になると「お先に失礼します」という声とともに急いで幼稚園や保育園へ子どものお迎えに向かいます。仕事と子育てに忙しい毎日ですが、その中でも、子育てについての悩みはさまざまです。現在、乳幼児を持つ親の2人にひとりが、自分の子どもが生まれるまで赤ちゃんに接したことがないという状況の中で、親として乳幼児期の育ちをどのように捉え、子育てをすればよいか日々迷うことが多いようです。

この4月から施行された幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領では、幼児期に育てたい資質能力のひとつに「学びに向かう力」があげられています。「学びに向かう力」とは、目標を達成するために他の人と協力したり、自分の感情をコントロールする力のことであり、「社会情動的スキル」とも言われています。OECDの研究によると（＊1）、この力は、早期に身に付けるほど、その後に得られる力も積みあがっていくものであるため、家庭教育や幼児教育・保育の場で身に付けることが大切であるとされています。私たちの研究室では、日本において「学びに向かう力」が幼児期にどのように育つかについて縦断調査を大学の先生方とともにを行っています。その結果の一部をご紹介します（＊2）。

この調査では、幼児期から小学校の学習生活に移行して適応するために必要とされる力や幼児期に育てたい生涯にわたって必要な力として、「生活習慣」「文字・数・思考」「学びに向かう力」の3つの軸をおき、年少児から毎年1回（2～3月）、母親を対象にアンケートを行っています。調査結果では、年少時期の「生活習慣」の定着が、年中時期の「学

びに向かう力」に影響を与え、「学びに向かう力」の定着が年長時期の「文字・数・思考」に影響を与えていることがわかりました。また、小2までの結果から、これらを幼児期に身に付けることが小1での「学習態度」につながり、さらに小2での「学習態度」にも結びついていることがわかりました。幼児期の育ちが土台となって、小学校以降の学習や生活に大切な「学習態度」に結びついていたのです。

また、「学びに向かう力」「文字・数・思考」の力が高い5歳児は、親子で日常的に、学びにつながるようなやりとりを伴う遊びをよくしていることもわかりました。そうした遊びをよくする親は、子どもに考えることをうながしたり、子どもを尊重する傾向が見られます。子どもに考えることをうながすとは、親が聞き手となって子どもの言葉に耳を傾け、言いたいことをもっと膨らませてあげたり、代弁してあげることで、子どもが自信をもってより詳しく自分で考えたり発言する意欲を持てるようにしてあげることです。親子で言葉遊びをしたり、積み木やお絵かきなどの遊びを楽しむことを通して、子どもが自分で考えられるようになることにつながります。この結果は、母親の就業の有無には関連がありませんでした。忙しい中でも、接し方次第で子どもの育ちをよりよくしていくことが可能であるといえるでしょう。共働き世帯が増加していく中で、子どもの健やかな成長・発達を育むために、家庭での子育てと幼児教育・保育が連携して子どもへのよりよい働きかけや環境作りをしていくことが大切であると思います。

＊1：社会情動的スキルー学びに向かう力（OECD、明石書店2018）

＊2：幼児期から小学生の家庭教育調査（ベネッセ教育総合研究所2012-2017）

## 平成 29 年度事業報告・収支決算を議決

全日私幼連の常任理事会が 4 月 24 日東京・私学会館にて行われました。28 人が出席し議長に小澤俊通副会長、議事録署名人に石井幸男常任理事、前田邦光常任理事が選出され、議事に入りました。

■審議案件 1：平成 29 年度事業報告について／各委員会委員長・プロジェクト座長から平成 29 年度事業報告の説明があり原案通り議決しました。

■審議案件 2：平成 29 年度収支決算及び会務監査報告について／田中総務委員長より資料をもとに平成 29 年度収支決算についての説明があり、原案を議決しました。また、伊藤夏夫監事より会務監査報告がありました。

■協議案件 1：委員会について／田中総務委員長より資料をもとに説明がありました。

■報告案件 1：会務運営報告について／各委員会委員長・プロジェクト座長より報告がありました。

■（公財）全日私幼研究機構からの報告／田中雅道（公財）全日私幼研究機構理事長から、研修履歴や



キャリアアップについてなど、機構の活動状況の報告がありました。

■その他／平成 30 年度全日私幼連・定時総会等の会議日程について、田中総務委員長より説明がありました。

最後に村山十五副会長の閉会のあいさつで終了しました。

（総務委員長・田中辰実）

## 地域で愛される園になるためのサポートブック

園のリーダーのために

# 保育ナビ

2018 年 6 月号の主な内容

### ●特集 1 子どもが育つ、保育者が育つ、保護者が育つ “スポーツ共育”のある世界

子どもの頑張る力ややりきる力、考える力を育てるのに、結果の見えやすいスポーツは絶好のツールといえます。子ども向けスポーツプログラムを開発する杉山美沙子さんと共に、人間力を育てるためのスポーツについて考えていきます。

### ●特集 2 保育の新たな真を語る「子どもと共に」の生活が輝く社会へ、授乳服で応援 授乳服の企画販売会社（有）モーハウスの光畑由佳代表と小林紀子先生（青山学院大学）の対談です。授乳服を通して社会に届けたいメッセージ等をうかがいました。

### ●「問い」が大事！ 職員一人ひとりの考える力を育てるコーチング 園の根幹である「理念」を具現化していくには……？ 職員間で共通の「問い」をもち、常に自分に問い続けることが必要です。

管理職向け月刊誌

定価：本体価格 926 円＋税  
B5 判 72 ページ



ISBN978-4-577-81435-2 706

本社：〒113-8611 東京都文京区本駒込 6-14-9 <http://www.froebel-kan.co.jp>  
ご注文・定期購読のお申し込みは 03-5395-6608 保育事業部営業本部まで

キンダーブックの **フレーベル館**

# 日本私立学校振興・共済事業団の融資

幼稚園の経営者のみなさん、こんなお悩みはありませんか？



園舎が古くなったので、安全性を考えて建て替えたい

- 平成30年度 耐震に関する利子助成制度です。ぜひご活用ください！

## 対 象

- 旧耐震基準の園舎の建て替え  
耐震化促進のための補助金の対象となる改築事業

耐震改築利子助成

〔私立学校施設整備費補助金〕  
〔安心こども基金等〕

- 耐震補強工事・非構造部材の耐震対策事業  
防災（耐震）機能強化のための補助金の対象となる改修事業

防災（地震）対策費（耐震改修利子助成）

## 事業団の融資

この融資制度は  
文部科学省から私立学校施設高度化  
推進事業費補助（利子助成）を受ける  
ことができますので

全借り入れ期間  
実質0.5%の  
固定金利です。

※融資金利が0.5%以下の場合は  
利子助成は行われません



融資上限＝補助対象事業費－補助金

※ 補助金の対象となっている事業に  
対してご利用いただけます。



給食室を増築したいけど資金が・・・



- 通常の融資もご相談ください。

低利・固定金利  
借入期間はなんと！  
**最長20年**

返済方法は  
利息負担の少ない  
**元金均等返済**

## 融資金利表

平成30年4月11日現在

| 融 資 費 目                                 | 返 済 期 間           |                   |                              |
|-----------------------------------------|-------------------|-------------------|------------------------------|
|                                         | 20年以内<br>(うち据置2年) | 10年以内<br>(据置年数含む) | 6年以内<br>(据置年数含む)             |
| 【一般施設費】<br>園舎・遊戯室等の建築事業等<br>並びに園地の買収事業等 | 年%<br>0.60        | 年%<br>0.31        | 年%<br>0.41                   |
| 【教育環境整備費】<br>校教具並びに通園バスの購入等             | —                 | 0.31              | 5年6か月以内<br>(うち据置6か月)<br>0.31 |

※融資金利は毎月の金利情勢により変更することがあります。

※上記費目以外にも災害復旧事業、公害対策事業等が対象となります。

日本私立学校振興・共済事業団

融資部 融資課

〒102-8145 千代田区富士見1-10-12

☎ 03 (3230) 7862～7867

✉ yushi@shigaku.go.jp

# 新幼稚園教育要領の実践について ：さらなる質の向上を目指して

東京大学大学院教育学研究科  
秋田喜代美

## 1 新要領の理解共有

新幼稚園教育要領の告示から1年が経ちました。教育課程を見直し、改訂にもとづき具体的に実践の工夫やさらなる向上に取り組もうとされている園も多いのではないかと思います。その時に大事にしたのは、何でしょうか。まずはなぜ改訂されたのか、どのように改訂されたのかの理解を教職員と共に保護者もまた共有することです。保護者にもなぜ、どのように変わったかを伝える機会を持たれたでしょうか。園便りや保護者会でということもあるように思います。また具体的に、「写真などを示しながら、園におけるこういう経験があって、学びに向かう力は育まれるのですよ。それは・・・だからなのです」といった形で、保護者がその場面だけを見ると時に

は否定的なことや失敗に見えたり、危険に見えることもそれが次の育ちにつながることを理解してもらい共有をはかることは、保護者にとっても見通しを持つうえで大事でしょう。そして、保護者に園はただ子どもを預かって目に見える〇〇能力ができるようになるということ直線的に育てているのではなく、計画的に3年間を見据えて教育を行っている場所であり、それが最終的に目指す子ども像の育ちを保障していることを伝えることが、なぜ遊びが大事かをわかってもらうためにも必要になるでしょう。それは園と家庭の生活との連続性の保障の上でも求められます。

また教職員間で教育要領の理解を共有するという時にも、理解の水準があると思っています。浅い理解から深い理解まであります。文言として変わった



新しいものを見るたび、触れるたび、

目覚ましく成長する子どもたち。

子どもたちにとって、毎日が成長の舞台です。

育む環境で、子どもたちの明日は変わる。

だから、私たちは大切なことを「環境」から考えます。

好奇心や想像力、勇気や感動。

そして、子ども同士の関わり合い。

子どもたちが大切な時期に、確かな一歩を踏み出せるように、

最良な環境の未来をつくりあげていきます。

こども環境の未来をつくる



ショクエツ



内容やそれが描かれている部分を読んで知ることや外での研修を受け解説をうけてくることは有効です。でもそれでは文字通りの浅い理解になります。それを自分たちの言葉で噛み砕いて話せること、そしてさらに子どもの具体的な日々の活動や姿とどのようにつながっているかをエピソード等を共有して考えていくこと、それを通して血肉となって身体化した形で保育実践の中に学びながら取り込んでいくことが質の向上を支えるための大事な道筋になるでしょう。それが真の理解につながると思います。

たとえば「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と言う時にも、10の姿の語だけにとらわれていると、時には誤解も生まれます。要領や解説書にある丁寧な説明にこそ意味があります。たとえば「自立心」と言う語だけを、保育者側があらかじめ持っている「自立」という語のイメージでとらえると独立や大人や人に頼らないというイメージが生まれるかもしれません。しかし「身近な環境に主体的に関わりさまざまな活動を楽しむ中でしなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信を持って行動するようになる」という要領の語にあたってみます。それにあてはまる具体的姿のエピソードはすぐに目に浮かぶでしょうか。おそらくこの文言全てを象徴的に観られる姿も時にはありますが、むしろそこに至る前のさまざまな場面が見られるでしょう。その姿を各年齢や期において写真や動画、エピソード記述などで記録をとりながらみていくことで、子どもの育ちとして「行動するようになっていく」プロセスやそのための援助の具体がみられてくるかもしれません。10ではなくても特にうちの園ではこの部分をとか、この時期を大事に見たいねと言うところを取り上げることもできるでしょう。

また要領からエピソードへという流れとは反対に、日々のエピソードの中にこの姿がどのように表れているのかを見ていくという方がより自然にできることかとも思います。そこで大事なことは、遊びや生活等の活動の援助に対する振り返りと同時にそこから見通しをもって、活動全体をカリキュラムマ

ネジメントするという発想です。一人ひとりの子どもの良さや可能性を捉えると同時に集団としての活動の意味を考え、子どもの実態に合わせて活動を考えていくことが求められます。そこから週案や月案の後ろに記録としてどんな変更があったのかを記録しておいたり、またそこでどんな環境を工夫したのかを記しておくことで翌年以降にも生かせるようにしていくこともできるでしょう。

## 2 自覚的な気づき

変わった部分には目がいきやすいですが、変わらない部分もとても大事です。「環境を通しての教育」は変わらない部分であると同時に変わらないので大丈夫だと思いがちです。しかし環境を通して行う教育について、解説を読んでみましょう。そして皆でそれを時には自己評価する鏡として見てみられてはどうでしょうか。意外にこういう部分はあまり意識していなかったなとか、具体的にこういう環境の構成が「環境との深いかかわり」につながるのではないかなど、要領や解説の言葉はよく練られていますから、それをよく読んで考えてみるといろいろなことが見つかります。「環境との深いかかわりってどういうこと？」と保育室、園庭など観てみるといういろいろなことに気が付くはずです。

また読んで、あとは積読の教育要領にするのはやめましょう。今回の解説書は厚いですが、それでもいつも園内研修の時には教育要領を持参して最後の1,2分だけ今日の話し合いに関係した所ってどこだろうなんて言いながら見てみてください。そうすると互いにそれが違っていたりしてまたそこから気づきが生まれます。要領改定こそ質向上へのチャンスの時期と考え、チームでワイワイ、ワクワク話し合ってみてください。いつもとは違う期待感が生まれると思います。



# 第9回

●テーマ「子どもたちの今と未来の幸せをねがって」

～一人一人の豊かな育ちを支える質の高い幼児教育を～

# 幼児教育

●趣旨 すべての幼児教育の現場の実践を豊かにし、幼児教育の有用性を社会に示すことで、子どもの育ちが最優先される社会が実現されることを目指して、平成22年度、幼児教育実践学会がスタートしました。

本学会では、3つの柱により学会運営を行います。

- ①発表者には、実践を踏まえた研究発表を行い、できるだけ映像等を使用する
- ②参加者は、生きた研修のメイキングの仕方を学び、地区・都道府県から各園に周知する
- ③保育実践者と研究者が共に育ちあう

# 実践学会

●期日 平成 30 年8月 17 日(金)・18 日(土)

●協力 全日本私立幼稚園連合会

●会場 東京家政大学 狭山キャンパス (埼玉県狭山市稲荷山 2-15-1)

●参加資格 幼児教育関係者

●定員 500 人

●参加費 4,000 円

●問い合わせ先(参加の方法、研究発表の方法、学会内容など)

公益財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-25 私学会館別館4階

TEL:03-3237-1957 FAX:03-3263-7038

大会の流れ(予定)/大会期日:平成 30 年 8 月 17 日(金)・18 日(土)

## ●第 1 日目 平成 30 年 8 月 17 日(金)

【会場】東京家政大学狭山キャンパス

12:30 — 開会式、表彰式

13:15 — 基調講演 I —

**豊かな学びに溢れた「遊び」とは何か**  
**講師:河邊貴子(聖心女子大学教授)**

14:45 — 休憩

15:10 — 基調講演 II

**(仮題) 2 歳児って面白い!**  
**講師:宮里暁美(お茶の水女子大学教授・文京区立お茶の水女子大学こども園園長)**

17:10 — 第 1 日目 閉会

17:30~19:00 — 保育者と研究者の交流懇親会 ※参加希望者のみ

※昼食のご用意はありません。各自でお取りください。

※「表彰式」では、本財団の平成 29 年度優秀教員表彰者を表彰します。

※進行の都合上、基調講演等の開始時刻が前後することがあります。あらかじめご了承ください。

## ●第 2 日目 平成 30 年 8 月 18 日(土)

【会場】東京家政大学狭山キャンパス

9:30 — 口頭発表【I】(80 分)

10:50 — ポスター発表(140 分)

昼食休憩

13:10 — 口頭発表【II】(80 分)

14:30 — 閉会

※昼食の予約を受け付けます。

※終了後は各口頭発表会場にて各自解散となります。



### 園・個人・研究者で研究発表を希望される方へ

○園・個人・研究者での研究発表は、ポスター発表に限らせて頂きます。

### 参加を希望される方へ

第 9 回学会への参加申し込み期間は、平成 30 年 5 月 23 日(水)までです

○参加を希望される方は、参加申込書の提出が必要です。当日参加は受け付けません。

○参加者は「参加申込書」に必要事項を記入し、平成 30 年 5 月 23 日(水)までに、所属の都道府県団体事務局の指示に基づいて、都道府県団体事務局へ「参加申込書」を送付してください。

○後日、各参加者へ直接「会場までの地図」「学会参加証」等を送付させていただきます。

- 参加費は 4,000 円です。「参加費」は返金いたしません（代理参加は可）
- 口頭発表ならびにポスター発表へお申し込みの方につきましても参加費はお支払いいただきます。（共同研究者の方もご参加の場合は同様に参加費をお支払いいただきます。）
- 学会当日の受付は 17 日（金）午前 11 時 30 分から行います。17 日はご昼食の用意がございませんので、各自でお取りいただくことになります。
- 17 日（金）は参加希望者による「保育者と研究者の交流懇親会」を開催します（交流懇親会費 3,000 円）。事前にお申込みされた方のみご参加いただけます。当日受付はいたしません。
- 18 日（土）の昼食につきましては、参加申込時に予約をした方に限りご用意いたします。（昼食費 1,000 円）当日受付はいたしません。なお、近隣・大学内には飲食店等はございませんので、ご了承ください。
- 参加費等は「参加申込書」と同様に、都道府県団体事務局の指示に基づいて、所属の都道府県団体事務局へ送金してください。
- 普通会员または賛助会員以外の参加者については、参加費（4,000 円）に参加申込書を添えて現金書留にて本財団までお送りください。参加申込締切（5 月 23 日（水））までに送金がない場合には参加は受け付けません。（現金書留宛先〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-25 私学会館別館 4 階（公財）全日本私立幼稚園幼児教育研究機構）
  - \*普通会员は、都道府県私立幼稚園団体に加盟している私立幼稚園です。
  - \*賛助会員は、本機構の目的に賛同し、その事業に協力する個人、団体又は企業です。
- 定員に達し次第、締め切らせて頂きますのでご了承ください。
- 宿泊施設・交通チケットにつきましては、参加者各自でご予約等のご対応をお願いします。池袋駅、所沢駅、入間駅近辺に宿泊施設がございます。ご参考ください。

## 会場までのアクセス



平成30年8月17日(金)・18日(土)  
東京家政大学狭山キャンパス

住所：  
〒350-1398  
埼玉県狭山市稻荷山 2-15-1

### ＜交通アクセス＞

●西武池袋線「稲荷山公園駅」下車徒歩3分  
池袋駅から急行で約40分です。



## 参加申込書

### ◆参加者1(または責任者)連絡先

|              |                                          |         |             |       |                            |
|--------------|------------------------------------------|---------|-------------|-------|----------------------------|
| 園名・勤務先       |                                          |         |             | 都道府県名 |                            |
| ふりがな         |                                          |         | 役職名         |       |                            |
| 氏 名          | 姓                                        | 名 (男・女) |             |       |                            |
| 連絡先住所        | 1. 勤務先      2. 自宅      (いずれかに○印をお付けください) |         |             |       |                            |
|              | 〒                                        |         |             |       |                            |
| 電話番号         |                                          |         | メール         |       |                            |
| 生年月日<br>(西暦) | 年      月      日<br>※傷害保険加入のためご記入ください。    |         | 懇親会<br>参加   |       | 希望される方のみ<br>○(丸印)を入れてください。 |
|              |                                          |         | 18日昼食<br>希望 |       |                            |

◇本学会で「すでに発表の申込を複数名でされている」及び「1園で複数の参加者を希望する」場合は、次の「参加者2～5」欄に必要事項をお書きください。

※生年月日は傷害保険加入のためご記入ください。すべて西暦でご記入ください。

※お弁当の当日受付はいたしません。

### ◆参加者2～5

|   | 氏名 |   | ふりがな | 園名・勤務先名 | 生年月日 (西暦) | 性別  | 懇親会<br>参加 | 18日<br>昼食<br>希望 |
|---|----|---|------|---------|-----------|-----|-----------|-----------------|
|   | 姓  | 名 |      |         |           |     |           |                 |
| 2 |    |   |      |         |           | 男・女 |           |                 |
| 3 |    |   |      |         |           | 男・女 |           |                 |
| 4 |    |   |      |         |           | 男・女 |           |                 |
| 5 |    |   |      |         |           | 男・女 |           |                 |

希望される方のみ  
○(丸印)を入れて  
ください。

### 参加申込 合計額

|                                |   |   |   |
|--------------------------------|---|---|---|
| 学会参加   4,000円 (全参加者)           | × | 名 | 円 |
| 保育者と研究者の交流懇親会   3,000円 (希望者のみ) | × | 名 | 円 |
| 昼食   1,000円 (希望者のみ)            | × | 名 | 円 |
| 合計                             |   |   | 円 |

※本参加申込書に記載された個人情報は、本学会の参加者名簿や参加受付証等発送など、本学会の運営・管理の目的に限り使用します。また、本学会の当日大会資料に「氏名」「都道府県名」「園名・勤務先」を掲載いたします。

※本参加申込書に記載いただきました「連絡先(住所)」に「学会参加証」等を送付いたします。

学会参加申込書：平成30年5月23日(水)までに  
本書を所属の都道府県団体私幼事務局へ送付してください

## 年長児の伝えあいから生まれる遊びや生活 ～教師の援助の工夫を振り返りながら～

黒崎 知子（武蔵野東第一・第二幼稚園）

依田 卓（武蔵野東第一・第二幼稚園）

### はじめに

年長クラスでは、友達と一緒に主体的に生活を進められるように、また自分たちでやりたいと企画した活動や行事などを、伝えあいや話し合いを通して進める面白さを味わえるようにと願い、教師の援助や環境構成をしている。ここでは、子供たちの学びや育ちを捉えながら、教師がどのように援助をしたのか、援助の課題や悩みは何か、また課題を解決するためにどのような工夫をしたのかについてまとめた。

### ワーク研修

一年間の保育を終え、年長クラスの担任全員で子供の“伝え合い”を通じた育ちと援助の工夫について共有するためのワークを行った。

- ① 子供たちの“伝え合い”を通して育てたいこと
- ② ①のための援助や環境構成をしてきたなかでの悩み・課題
- ③ 悩みを乗り越えるために心掛けたこと・工夫したこと

上記、①～③の項目を順に付箋で出したことで、育てたい姿を共有するだけでなく、同じように他クラスの教師も苦労してきたことや、そのために工夫としてきたことを多様に得ることができた。

### <ワークの実際>



### <ワークのまとめ>



### 実践

ワークで共有したことを保育に活かした実践について、いくつか紹介する。

#### 1、一人一人が考えを伝え、相手の話に関心をもてるように

“伝え合う”といっても、急にできるようになるわけではない。まずは、話題に興味をもって自分の考えを話すことから始まる。そこで、「なぞなぞタイム」のような遊びを取り入れた。これは、数人で1グループを作り、答えをグループで考えるという遊びで

ある。数人なので伝え合いやすく、正解を当てたいという気持ちから関心も高まった。日常の遊びの中から伝え合う面白さを体験した。



画像：なぞなぞタイム

## 2、教師は一参加者もしくは黒子に

教師が前に立ち、子供の発言に応答していくことも大切にしながら、少しずつ教師が話し合いのサポート役に回することで、自ら発言しない子の思いを聞き取ったり、興味が持ちにくい子へ働きかけたりした。また、一参加者として質問し、話の方向性や話の根拠を確認するようにした。次第に自分たちで話し合いを進めようとする姿がみられるようになっていった。

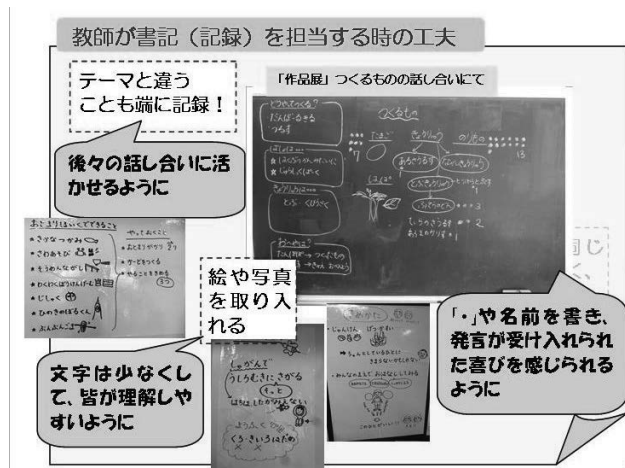


## 3、教師は話し合いの記録役に

子供たちが自分の考えを伝え合い、いろいろなアイディアが出たり、意見が割れたりした時にも、皆に話の内容がわかるように、また話し合ったこと

を振り返ったり、翌日に足跡が残せるようにと教師が記録をとるようにした。その時の工夫も様々であった。

- ① 同じことを発言した時にも「同じだね」と終わりにせず、印や名前を残すことで、受け入れられたり認められたりした喜びを感じられるようにした。
- ② 話題からそれた発言も記録の端に書き留めて、次の話し合いに役立てるようにした。
- ③ 文字は少なく、絵を取り入れて皆にわかりやすい表記に心掛けた。



## まとめ

子供たちが主体的に伝え合うための援助の工夫について、また伝え合いを通した子供の育ちについて、今もなお、実践を振り返りながら、研修を続けることで、教師がこの取り組みの面白さを感じるようになってきている。

今後も、教育の質を向上していく取り組みを継続していけるように実践していきたい。



## 食育を通して育つ力

～食べるの大好きな子どもに育て～

学校法人庄内神社学園 幼保連携型認定こども園

庄内こどもの杜幼稚園 有友 順子

### はじめに

食育って・・・楽しいだけでいいの？と疑問が出てきた。当園は「神社神道」の園で、せっかくの神社の園として日本の文化に拘りたい、保育として繋がりある活動や意味のある活動をしたい・・・と考えるようになった。そこでまず見直したのが、遠足に行く場所と食と行事の繋がりである。今迄の遠足はハコものに行っていたが、それを田んぼや畑に行き、自分達で苗植えや収穫を行い、その場で採れたての食材を食べる事で食べる物に興味関心を持てるようにした。又、伝統食や行事食、季節に応じた旬を取り入れることで繋がりのある保育を目指した。日常的にはその日の給食の食材の手伝い（包丁で切る、ちぎる、皮をむく他等）をするなどの取り組みも行った。取り組みとして以下のようなことを一年を通して行っている。

### ＜文化を体験させる＞

#### 伝統食柿作りや行事食体験として

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>5月 魚の解体</b></p>  <p>イワシとアジの天日干し</p>  <p>ごまをたっぷりほいたイワシの味噌干し</p>  <p>内臓を取って干しをしています</p>  <p>一口どうぞ</p> <p>干しておいて味噌で焼いています。</p>  <p>丁度良い塩梅に干されたアジの一夜干し</p>  | <p><b>6月 梅干し作り（年中）<br/>蛸さばきかた蛸飯作り</b></p> <p>ウコ</p>  <p>ぬるぬるする～</p>  <p>茹であがりました</p>  <p>墨で絵を描いています</p> <p>梅干し</p>  <p>梅漬け</p>  <p>赤じきをみます</p> | <p><b>7月 流しそうめん</b></p>  <p><b>12月 味噌作り</b></p>  <p><b>12月 干柿作り・鏡餅作り</b></p>  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

### ＜遠足＞

年長は春に田植えに行き秋に稲刈りを体験する。秋祭りの時に新米を神前にお供えし、12月にはわらでメ縄を作り各教室に飾り、年明けのとんどで焼納する。又、脱穀の時にした糠で糠床を作り全クラス順番に好きな野菜を漬けていく。他に大根抜きをしたり、年中は芋掘りやとうもろこし狩りをしその場で生の食感を味わったり料理や調味料による味比べを体験する。

### 日々の手伝い

|                                                                                                     |                                                                                                                   |                                                                                                            |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  <p>今日のお手伝い表</p> |  <p>じゃが芋をピーラーでむいています（年中組）</p> |  <p>給食の材料を展示しています</p> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

日々の給食の食材を展示し、0才児～5才児の子ども達が直接触れ、匂いをかぐ見るなどが出来るようにしている。その日出てくる給食への関心が高まるようにしている。食材切りやちぎるむくといった手伝いをする事でも今迄口にすることが出来なかった子どもが食べてみようかな！！といった意欲も出てきている。



園庭を食べる！！

園庭の実のなる樹木 (一部です)



ひめりんご かみん さくらんぼ ぐわの実 食べるまで ほんまき

果実の収穫後



ゆきりんご ゆきりんご ゆきりんご

0 才～5 才の各クラス毎にプランターで野菜を育てることで育てる手間と収穫する喜びを体験している。

収穫後は各クラスで調理し食し満足感を得、又、他クラスへのお裾分けをして収穫の喜びを共にしている。



10の姿・5領域であてはめてみると



たかが「食育」、  
されど「食育」  
おそるべし「食育」!!

樹木に実が成り直接自分で採って食べる事で、この実はまだたべられない、この実はもう赤くなっているから食べられるといった経験から出てくる言葉が子どもから出てきたり、木々の高い所になっている実を獲得する為、園庭においてある遊び道具（ビールケースや桶等）を使って、ビールケースなら階段仕立てにして、危なくないよう足場をつくったり、桶ならくぼみの所を実が転がり落ちるよう持ち協力しあい工夫している姿が見られるようになってきた。又、獲得した実を皆で分け合う姿も見られるようになり、年の小さな子どもは収穫の仕方を真似する姿も出始めてきている。このように遠足や行事、日々の保育の中で食べる物を通して子ども達が共に様々な体験を積み重ねる事と、毎年同じ事を繰り返し行う事が見通しと育ちに繋がるのではないかと感ずる。家庭で出来にくくなってきた文化の補完を園で行い体験させる事に意味があるのではないかと考える。

自園にとって食育を大切に考える10の意味

この取組を通して食育には10の姿が見られ、「食」「食べる」といった事には興味関心を引き寄せ子ども自らが育つ力があると感じる。料理をして食べるということは料理の向こう側にある、人や物・事・自然を五感で感じるからではないだろうか。日々の給食の食材の手伝い然り、同じ食材でも味や切り方を変えることで異なる味わいを体験し、未知なる物への挑戦する気持ちが芽生えたり、今ある物の中での分配方法や無駄にしない、もったいないなど食遊びを通して生きる土台を学んでいっている。口に入るものだからこそ安全性にも気をつけ、様々な体験を通してより豊かな人間性を育めるよう「食」の力を借りて、環境を整えていく必要がある。食を通して粘り強く取り組み方や内発的に物事に取り組もうとする意欲、生きる力が特に育つと感ずる

まとめ

- ①本園の食育は行事・文化・日々の生活の営みを繰り返し体験することによりしっかりと生活経験として子どもの核の部分に根ざしている
- ②「食」「食べる」と言った事には興味関心を引き寄せ子ども自らが育つ力があると感じる。そのため料理の向こう側にある、人や物・事・自然を五感で感じる事ができる。
- ③だから本園の食育では体験を通して未知なる物への挑戦する気持ちが芽生えたり、今ある物の中での分配方法や無駄にしない、もったいないなど食遊びをとおして生きる力の土台を学んでいっている
- ④その過程を分析すると5領域や10の姿が基礎となり生きる力が特に育ち発揮するような取り組みになっている

## 「親子音楽鑑賞教室」の紹介

当連合会では、岐阜県私立幼稚園PTA連合会との共催で親子音楽鑑賞教室「幼稚園児親子のためのコンサート」を平成24年から7年連続で開催しています。子どもたちに岐阜県交響楽団によるフルオーケストラを楽しんでもらおうと企画したPTA役員・委員の園長先生方の会場運営による演奏会です。

今回のコンサートでも親子が楽しめるようクラシック曲はじめ田中陽治氏編曲の「大きな古時計」、ぼくのわたしの思い出の1年間の曲集、ディズニーメドレーなどを親子で楽しみました。演奏の合間に、どんな楽器からどんな音が出るか弦楽器や管楽器・打楽器の紹介があったり、5歳児の子どもたちが参加する指揮者コーナーでは、オーケストラを前にタクトを振って子どもが指揮者に挑戦しました。抽選で選ばれた年長児が順番に「小さな世界」に合わせて2拍子で指揮をしました。女の子に続いて登場した男の子が、指揮の途中で泣き出してしまいました。フルオーケストラの迫力・臨場感に圧倒された場面です。客席から聴いていても生のフルオーケストラの演奏には圧倒されるものがありますが、特等席ともいえる指揮者の場所だからこそそれが実感できた光景だったと思います。オーケストラと聞くと小さな子は聞けないのではないかと、まだ早いのではと思われるがちですが、指揮者田中氏の演出とお話しも馴染みやすく楽団と客席が共に参加し歌ったり、静かに聴き入ったり、親子で良質な音楽に触れるとても貴重な時間となりました。幼児期からのこうした体験は、子どもたちにとって感受性を育てる大変有意義なことであり、同時に親子で楽しみ鑑賞することによる感動も大きなものであると思います。

（（一社）岐阜県私立幼稚園連合会PTA委員長、  
可児市・大栄幼稚園／田中康順）

## 滋賀私幼の重点活動

滋賀県私立幼稚園協会は、例年設置者・園長会を実施し、関係園の代表者が集い、幼稚園に関わる多角的な研修を行うと共に、お互いの近況や課題を共有しています。昨年度は全日私幼連政策委員長の坪井久也氏を迎え、私立幼稚園全体の課題を始め、私学助成園の現状と今後についてうかがい、見識を深めました。

また毎年、関係園の幼稚園教諭と共に、人権研修会を実施し、様々な講師を迎え、子どもたちの人権について学んでいます。保育や教育という視点からだけではなく、子どもの人権という普遍的かつ重要な視点から、幼稚園での働きを見直す良い機会となっています。

さらに滋賀私幼では、年1回開催される「私学振興大会」の実行委員を2016年度から務めています。この大会では、滋賀県下にあるすべての私立学校に呼びかけ、共に私学の振興に思いを馳せ、教育に対する思いを一つにするための研修を行っています。日頃出会う機会の少ない幅広い教育機関や関係者と出会い、私学の振興のために思いを一つに出来る、よい大会です。この働きが今後も継続され、私学の振興に資するものになることを心より願います。

また、滋賀私幼には、滋賀県私立幼稚園PTA連合会が連なっています。P連では、幼稚園のPTAが主体的に委員会を組織し、年1回の大会を開催しています。これもまた、幅広いジャンルの講師を迎え、保護者にとってよき研修の場となっています。

決して大きな組織とは言えませんが、お互いの働きを共有し、力を合わせて、滋賀県の私立学校の振興に努めています。この働きが、私立学校の良き糧となることを確信し、これからも歩んでまいります。

（滋賀県私立幼稚園協会理事、大津市・清和幼稚園／須賀工）

## 編集後記

昨年(2018)の10月、裏庭で赤手ガニを見つけました。近所の方が飼っていたものが逃げ出したということでしたが、その後7匹に増え、厚意により園で飼う事になりました。

子どもたちは図鑑を見ての話し合い。陸地にしようと大きな石を入れ、隠れ場所にと植木鉢を入れ、水は井戸水にこだわって毎朝理事長宅に取りに行つての飼育です。瞬く間に人気者となり、子どもたちは「カニさんおはよう」と声を掛けてから保育室に行くようになりました。

保護者の方も1人、2人とカニを見に来るようになり玄関が賑わっています。カニの脱皮を目の当たりにした瞬間は大きな拍手となり大歓声でした。そして寒くなり、カニの動きは鈍くなり冬眠したようです。

今また、カニとの朝の挨拶が始まり、会話が弾み生命の不思議さや尊さに気づかせてくれています。大自然ではありませんが小さな自然・生き物との関わりを大切にしたいと思っています。

(調査広報委員・武藤ちよ子)

## 「台湾東部地震への義捐金を寄贈しました」

全日私幼連こどもがまんなかPROJECTは、共生・国際的支援活動の観点から平成30年度2月6日に台湾花蓮県で発生した地震に対して、義捐金を寄付することとしました。

平成30年3月27日に、台北駐日経済文化代表処へ出向き、50万円を寄贈いたしました。

東日本大震災の際に、多くの義捐金を寄贈していただいた台湾に対し感謝の気持ちと少しでも早く復興してほしいという思いを届けました。

保育力の向上のために

資質向上の取組の証明に

キャリアパスや免許更新のために  
研修の記録を大切に残しておきましょう！

**監修** 公益財団法人 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

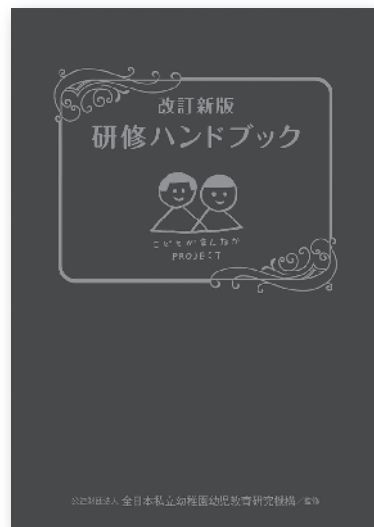
**改訂新版 研修ハンドブック**

4145301 **648円** (本体 600円)

●B6判  
●112ページ

ご用命はお近くの書店、またはワンダー販売会社まで。

**株式会社 世界文化社** ワンダー CS 事業本部  
**TEL03-3262-5128**





## 平成30年度（第4回）免許状更新講習の認定一覧

●必修領域「全ての受講者が受講する領域」に関する免許状更新講習

| 講習の開催地     | 講習の概要                                                                                                                                                                              | 担当講師                                                      | 時間数 | 講習の期間      | 受講数  | 認定番号              |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|-----|------------|------|-------------------|
| 北海道<br>札幌市 | 「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は7月25日開催の選択必修講習と連続して行うものです。 | 佐藤 貴虎（旭川大学短期大学部幼児教育学科教授）<br>滝澤 真毅（帯広大谷短期大学社会福祉科子ども福祉専攻教授） | 6時間 | 平成30年7月24日 | 250人 | 平30-80011-100945号 |
| 北海道<br>札幌市 | 「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は7月25日開催の選択必修講習と連続して行うものです。 | 佐藤 貴虎（旭川大学短期大学部幼児教育学科教授）<br>滝澤 真毅（帯広大谷短期大学社会福祉科子ども福祉専攻教授） | 6時間 | 平成30年7月24日 | 100人 | 平30-80011-100946号 |
| 北海道<br>旭川市 | 「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は7月25日開催の選択必修講習と連続して行うものです。 | 佐藤 貴虎（旭川大学短期大学部幼児教育学科教授）<br>滝澤 真毅（帯広大谷短期大学社会福祉科子ども福祉専攻教授） | 6時間 | 平成30年7月24日 | 100人 | 平30-80011-100947号 |
| 北海道<br>北見市 | 「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は7月25日開催の選択必修講習と連続して行うものです。 | 佐藤 貴虎（旭川大学短期大学部幼児教育学科教授）<br>滝澤 真毅（帯広大谷短期大学社会福祉科子ども福祉専攻教授） | 6時間 | 平成30年7月24日 | 50人  | 平30-80011-100948号 |
| 北海道<br>函館市 | 「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は7月25日開催の選択必修講習と連続して行うものです。 | 佐藤 貴虎（旭川大学短期大学部幼児教育学科教授）<br>滝澤 真毅（帯広大谷短期大学社会福祉科子ども福祉専攻教授） | 6時間 | 平成30年7月24日 | 100人 | 平30-80011-100949号 |
| 宮城県<br>仙台市 | 「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は7月29日開催の選択必修講習と連続して行うものです。 | 三浦 主博（東北生活文化大学短期大学部教授）<br>磯部 裕子（宮城学院女子大学教授）               | 6時間 | 平成30年7月28日 | 150人 | 平30-80011-100938号 |
| 山形県<br>山形市 | 「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は9月9日開催の選択必修講習と連続して行うものです。  | 大桃 伸一（東北文教大学教授）<br>永盛 善博（東北文教大学准教授）                       | 6時間 | 平成30年9月8日  | 80人  | 平30-80011-100940号 |



**ポットは毎号CD-ROM付き!**

### チャイルドブックの月刊保育雑誌

イキイキ保育応援マガジン

# ポット

価格 本体 1,000円 + 税

**好評発売中!**

チャイルド本社

## 保育に役立つ アイデア満載!

行事

遊び

食育

0・1・2歳児

〒112-8512 東京都文京区小石川 5-24-21  
TEL 03-3813-2141 FAX 03-3814-3392  
<http://www.childbook.co.jp/pot/>



|              |                                                                                                                                                                                    |                                                                                                           |     |            |      |                   |
|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|------------|------|-------------------|
| 福島県<br>郡山市   | 「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は7月31日開催の選択必修講習と連続して行うものです。 | 高橋 昇（豊岡短期大学通信教育部非常勤講師）<br>折笠 国康（郡山女子大学短期大学部幼児教育学科准教授）                                                     | 6時間 | 平成30年7月30日 | 50人  | 平30-80011-100939号 |
| 茨城県<br>つくば市  | 「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は7月27日開催の選択必修講習と連続して行うものです。 | 木村 由希（常磐短期大学幼児教育保育学科准教授）<br>中島 美那子（茨城キリスト教大学文学部児童教育学科准教授）                                                 | 6時間 | 平成30年7月26日 | 120人 | 平30-80011-100943号 |
| 茨城県<br>つくば市  | 「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は7月27日開催の選択必修講習と連続して行うものです。 | 木村 由希（常磐短期大学幼児教育保育学科准教授）<br>中島 美那子（茨城キリスト教大学文学部児童教育学科准教授）                                                 | 6時間 | 平成30年7月26日 | 100人 | 平30-80011-100944号 |
| 東京都<br>千代田区  | 「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は7月23日開催の選択必修講習と連続して行うものです。 | 黒田 秀樹（東京短期大学講師）<br>宮下 友美恵（静岡県立大学短期大学部非常勤講師）                                                               | 6時間 | 平成30年7月22日 | 150人 | 平30-80011-100950号 |
| 神奈川県<br>相模原市 | 「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお本講習は、7月29日選択必修と連続して行うものです。      | 松山 洋平（和泉短期大学児童福祉学科准教授）<br>八代 陽子（和泉短期大学児童福祉学科専任講師）<br>齋藤 正典（相模女子大学学芸学部子ども教育学科教授）<br>岩本 勉（鎌倉女子大学短期大学部非常勤講師） | 6時間 | 平成30年8月4日  | 120人 | 平30-80011-100941号 |
| 神奈川県<br>相模原市 | 「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお本講習は、7月22日選択必修と連続して行うものです。      | 吉岡 日三雄（相模女子大学特任教授）<br>七海 陽（相模女子大学学芸学部子ども教育学科准教授）<br>齋藤 正典（相模女子大学学芸学部子ども教育学科教授）                            | 6時間 | 平成30年7月21日 | 200人 | 平30-80011-100942号 |
| 京都府<br>京都市   | 「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は7月31日の選択必修講習と連続して行うものです。   | 田中 雅道（大阪教育大学非常勤講師）<br>宮下 友美恵（静岡県立大学短期大学部非常勤講師）                                                            | 6時間 | 平成30年7月30日 | 165人 | 平30-80011-100937号 |

## (株)学研教育みらい 東京都品川区西五反田2-11-8 幼児教育事業部

お問い合わせは 0120-833-415  
フリーダイヤル

### 園ぴゅう太のメールサービス

**サーバー二重化!**

**らくらくメール**

園から保護者へらくらくメール送信！  
組別・個別送信、既読確認もできます。  
サーバー二重化で、いざという時も安心です。

**スマホで**

**らくらくバスメール**

スマートフォンでバスメールを送信！  
大きなボタン表示で画面操作もらくらく。  
タップするだけでメール送信できます。

**ぜ～んぶ学研に  
おまかせ!!**

心機一転！  
**リニューアル**

オリジナル！  
**キャラクター  
ロゴ**

Flashで  
**動画!**

**らくらくホームページ**

目的やご要望に合わせて作成し、学研が更新  
もお電話・FAXで対応します。  
「お知らせ更新は園で…」というご要望にも  
システム併用でご対応いたします。

●選択必修領域「受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域」に関する免許状更新講習

| 講習の開催地      | 講習の概要                                                                                                                                               | 担当講師                                                       | 時間数 | 講習の期間      | 受講数  | 認定番号              |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|-----|------------|------|-------------------|
| 北海道<br>札幌市  | 「学校を巡る近年の状況の変化」「学習指導要領の改訂の動向等」の2項目について、幼稚園教諭に求められる最新の知識の修得と今日的な教育的課題についての理解を深めることを目指す。また、幼稚園教諭免許状の更新者に焦点を当てた内容としている。なお、本講習は7月24日開催の必修講習と連続して行うものです。 | 平野 良明（札幌国際大学人文学部心理学科教授）<br>吉田 耕一郎（北翔大学非常勤講師）               | 6時間 | 平成30年7月25日 | 250人 | 平30-80011-302042号 |
| 北海道<br>札幌市  | 「学校を巡る近年の状況の変化」「学習指導要領の改訂の動向等」の2項目について、幼稚園教諭に求められる最新の知識の修得と今日的な教育的課題についての理解を深めることを目指す。また、幼稚園教諭免許状の更新者に焦点を当てた内容としている。なお、本講習は7月24日開催の必修講習と連続して行うものです。 | 平野 良明（札幌国際大学人文学部心理学科教授）<br>吉田 耕一郎（北翔大学非常勤講師）               | 6時間 | 平成30年7月25日 | 100人 | 平30-80011-302043号 |
| 北海道<br>旭川市  | 「学校を巡る近年の状況の変化」「学習指導要領の改訂の動向等」の2項目について、幼稚園教諭に求められる最新の知識の修得と今日的な教育的課題についての理解を深めることを目指す。また、幼稚園教諭免許状の更新者に焦点を当てた内容としている。なお、本講習は7月24日開催の必修講習と連続して行うものです。 | 平野 良明（札幌国際大学人文学部心理学科教授）<br>吉田 耕一郎（北翔大学非常勤講師）               | 6時間 | 平成30年7月25日 | 100人 | 平30-80011-302044号 |
| 北海道<br>北見市  | 「学校を巡る近年の状況の変化」「学習指導要領の改訂の動向等」の2項目について、幼稚園教諭に求められる最新の知識の修得と今日的な教育的課題についての理解を深めることを目指す。また、幼稚園教諭免許状の更新者に焦点を当てた内容としている。なお、本講習は7月24日開催の必修講習と連続して行うものです。 | 平野 良明（札幌国際大学人文学部心理学科教授）<br>吉田 耕一郎（北翔大学非常勤講師）               | 6時間 | 平成30年7月25日 | 50人  | 平30-80011-302045号 |
| 北海道<br>函館市  | 「学校を巡る近年の状況の変化」「学習指導要領の改訂の動向等」の2項目について、幼稚園教諭に求められる最新の知識の修得と今日的な教育的課題についての理解を深めることを目指す。また、幼稚園教諭免許状の更新者に焦点を当てた内容としている。なお、本講習は7月24日開催の必修講習と連続して行うものです。 | 平野 良明（札幌国際大学人文学部心理学科教授）<br>吉田 耕一郎（北翔大学非常勤講師）               | 6時間 | 平成30年7月25日 | 100人 | 平30-80011-302046号 |
| 宮城県<br>仙台市  | 本講習では、①「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿について理解を深める」②「国の教育政策や世界の教育の動向」の2つをテーマに講義を行う。幼稚園で育む具体的な資質・能力について学び、新教育要領について理解を深める。<br>なお、本講習は7月28日開催の必修講習と連続して行うものです。       | 和田 明人（東北福祉大学教授）<br>大迫 華史（仙台白百合女子大学准教授）                     | 6時間 | 平成30年7月29日 | 150人 | 平30-80011-302035号 |
| 山形県<br>山形市  | 本講習では、「幼稚園を巡る近年の状況の変化」「幼稚園教育要領の改訂の動向等」「社会的養護と保育相談支援のあり方」について、最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題の理解を深めることを目指す。<br>なお、本講習は9月8日開催の必修講習と連続して行うものです。                   | 佐久間 美智雄（東北文教大学短期大学部准教授）<br>下村 一彦（東北文教大学准教授）                | 6時間 | 平成30年9月9日  | 80人  | 平30-80011-302037号 |
| 福島県<br>郡山市  | 本講習は幼稚園教諭を対象とし、学校を巡る近年の状況の変化、学習指導要領の改訂の動向等についてその理解を深めるとともに、今日求められている幼稚園教育の課題をふまえて、幼稚園や教員の役割について考察する。なお、本講習は7月30日開催の必修講習と連続して行うものです。                 | 賀門 康博（郡山女子大学短期大学部非常勤講師）<br>小林 徹（郡山女子大学短期大学部幼児教育学科教授）       | 6時間 | 平成30年7月31日 | 50人  | 平30-80011-302036号 |
| 茨城県<br>つくば市 | 本講習では、子どもの生活の変化に伴い、現在の幼稚園・保育園・認定こども園が担うべき幼児教育の課題を探り、新指導要領を踏まえて、保育の質を高めていくための在り方を考える。<br>なお、本講習は7月26日開催の必修講習と連続して行うものです。                             | 石田 隆雄（茨城キリスト教大学非常勤講師）<br>綿引 喜恵子（茨城女子短期大学講師・茨城キリスト教大学非常勤講師） | 6時間 | 平成30年7月27日 | 120人 | 平30-80011-302040号 |

幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に準じた指導計画

# 月刊 保育とキャリア

毎月2日発売



ひかりのくに株式会社

本社/〒543-0001 大阪市天王寺区上本町3-2-14 TEL.06-6768-1151代表  
支社/〒175-0082 東京都板橋区高島平6-1-1 TEL.03-3979-3111代表

|              |                                                                                                                                                             |                                                              |      |                  |       |                     |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|------|------------------|-------|---------------------|
| 茨城県<br>つくば市  | 本講習では、子どもの生活の変化に伴い、現在の幼稚園・保育園・認定こども園が担うべき幼児教育の課題を探り、新指導要領を踏まえて、保育の質を高めていくための在り方を考える。<br>なお、本講習は7月26日開催の必修講習と連続して行うものです。                                     | 石田 隆雄（茨城キリスト教大学非常勤講師）<br>綿引 喜恵子（茨城女子短期大学講師・茨城キリスト教大学非常勤講師）   | 6 時間 | 平成 30 年 7 月 27 日 | 100 人 | 平 30-80011-302041 号 |
| 東京都<br>千代田区  | 「学校を巡る近年の状況の変化」「学習指導要領の改訂の動向等」について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は7月22日開催の必修講習と連続して行うものです。                                            | 加藤 篤彦（学校法人武蔵野学園理事、武蔵野東第1幼稚園園長、第2幼稚園園長）<br>田中 雅道（大阪教育大学非常勤講師） | 6 時間 | 平成 30 年 7 月 23 日 | 150 人 | 平 30-80011-302047 号 |
| 神奈川県<br>相模原市 | 本講習では、家庭・学校・地域とどのように連携を取り、共に知恵と力を合わせて子どもの育ちを支えていくのかを学ぶ。平成 30 年から施行される予定である幼稚園教育要領改訂にあたって新たに保育者に期待されていることは何か、現状の保育と比較しながら学びを深めていく。なお、本講習は8月4日必修と連続して行うものです。  | 久保 小枝子（和泉短期大学児童福祉学科専任講師）                                     | 6 時間 | 平成 30 年 7 月 29 日 | 120 人 | 平 30-80011-302038 号 |
| 神奈川県<br>相模原市 | 本講習では、家庭・学校・地域とどのように連携を取り、共に知恵と力を合わせて子どもの育ちを支えていくのかを学ぶ。平成 30 年から施行される予定である幼稚園教育要領改訂にあたって新たに保育者に期待されていることは何か、現状の保育と比較しながら学びを深めていく。なお、本講習は7月21日必修と連続して行うものです。 | トート・ガーボル（相模女子大学学芸学部子ども教育学科教授）                                | 6 時間 | 平成 30 年 7 月 22 日 | 200 人 | 平 30-80011-302039 号 |
| 京都府<br>京都市   | 「様々な問題に対する組織的対応の必要性」「学習指導要領の改訂の動向等」について、教員に求められる最新の知識・技能の習得と今日的な教育的課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は7月30日開催の必修講習と連続して行うものです。                                      | 安達 譲（大阪教育大学非常勤講師）<br>藤本 明弘（元薫英女子短期大学非常勤講師）                   | 6 時間 | 平成 30 年 7 月 31 日 | 165 人 | 平 30-80011-302034 号 |

●選択領域「受講者が任意に選択して受講する領域」に関する免許状更新講習

| 講習の開催地     | 講習の概要                                                                                                                                                                                                                                  | 担当講師                     | 時間数  | 講習の期間             | 受講数   | 認定番号                |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|------|-------------------|-------|---------------------|
| 北海道<br>札幌市 | 「保育の実践力を高める」<br>「保育現場での質を高める」、「幼稚園の役割を広め深める」の2つの事項について理解と実践をふり取り、応用力をつけ保育現場における現代的な課題に関する知識と理解を得ることを目指す。また、幼稚園教諭免許状の更新者に焦点を当てた内容としている。                                                                                                 | 今野 道裕（名寄市立大学短期大学部児童学科教授） | 6 時間 | 平成 30 年 7 月 26 日  | 250 人 | 平 30-80011-507943 号 |
| 北海道<br>札幌市 | 「保育の実践力を高める」<br>「保育現場での質を高める」、「幼稚園の役割を広め深める」の2つの事項について理解と実践をふり取り、応用力をつけ保育現場における現代的な課題に関する知識と理解を得ることを目指す。また、幼稚園教諭免許状の更新者に焦点を当てた内容としている。                                                                                                 | 若林 卓実（認定こども園あけぼの園長）      | 6 時間 | 平成 30 年 7 月 27 日  | 250 人 | 平 30-80011-507944 号 |
| 山形県<br>山形市 | 本講習は、保育者としての専門性を高めることを目的とし、子どもの育ちの変容について理解を深め、保護者や小学校、関係機関と連携した子どもに寄り添った対応について学び、子育て支援実践のための知識を高めることを目指すものである。                                                                                                                         | 永盛 善博（東北文教大学准教授）         | 6 時間 | 平成 30 年 9 月 24 日  | 80 人  | 平 30-80011-507945 号 |
| 福島県<br>福島市 | 「子どものあるべき姿の探求—幼稚園教育要領改訂のポイント—」をテーマとして、今回の幼稚園教育要領の改定のポイントを押さえながら、子どものどのような経験と姿につなげていくのかを具体的に学ぶ事を目指します。                                                                                                                                  | 横山 文樹（昭和女子大学教授）          | 6 時間 | 平成 30 年 8 月 7 日   | 50 人  | 平 30-80011-507940 号 |
| 福島県<br>福島市 | 本講習は、「保育の基本を大切に保育実践のあり方」をテーマとして、障害のある子どもや気になる子どものいる保育を取り上げながら保育の基本を大切に保育実践を考えます。幼児の理解を基にしながら多面的、多角的視点から多様化する保育のあり方に迫っていきます。講習では、保育ビデオの視聴を取り入れ、参加者に日々の保育の振り返りを促し、幼児理解を起点として子どもへの援助やクラス経営の進め方、保護者との対応や保護者との連携協働のあり方などのついて理解を深める学びを目指します。 | 野本 茂夫（國學院大学教授）           | 6 時間 | 平成 30 年 12 月 25 日 | 50 人  | 平 30-80011-507941 号 |



**バス専用機不要！**  
**スマホで簡単バス運行管理！**

# くるんとバス

-通園バス位置情報システム-

「くるんとバス」はスマートフォン・タブレットのGPS機能を活用したシステムで、バスの運行情報や到着メール・ルート作成等を提供するクラウド型サービスです。



**株式会社チャイルド社** インターネット課

TEL.03-5370-7497 〒167-0052 東京都杉並区南荻窪4-37-15

ホームページアドレス <http://www.child.co.jp/>

**いつもNAVI**

「いつもNAVI」動態管理サービスfor送迎バス（くるんとバス）は、株式会社ゼンリンデータコムの登録商標です。

|              |                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                            |      |                                      |       |                     |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------------------------------------|-------|---------------------|
| 茨城県<br>水戸市   | 子どもは日々幼稚園の中で生活し遊んでいる。その子どもの成長発達を支える土台は生活であり遊びであるとする。幼稚園の役割としての生活を子どもの視点と教師の視点から考えていきたい。また遊びについては自発的、自然発生的に子どもの中に生まれる遊びと教師の提案する遊びについても考察したい。                                                                                                             | 飛田 隆（茨城キリスト教大学文学部児童教育学科准教授）                                                                                | 6 時間 | 平成 30 年 6 月 24 日                     | 100 人 | 平 30-80011-507949 号 |
| 茨城県<br>土浦市   | 子どもは日々幼稚園の中で生活し遊んでいる。その子どもの成長発達を支える土台は生活であり遊びであるとする。幼稚園の役割としての生活を子どもの視点と教師の視点から考えていきたい。また遊びについては自発的、自然発生的に子どもの中に生まれる遊びと教師の提案する遊びについても考察したい。                                                                                                             | 飛田 隆（茨城キリスト教大学文学部児童教育学科准教授）                                                                                | 6 時間 | 平成 30 年 7 月 1 日                      | 120 人 | 平 30-80011-507950 号 |
| 栃木県<br>宇都宮市  | 発達障害を中心に上げ、その支援に必要な事柄について概観します。まず、障害を抱える子どもへの長期的な視点を学びます。その後、疑似体験ワークを通して、体験的に発達障害を理解することを目指します。最後に、支援のための理論や保護者支援について学びます。<br>1. 特別支援教育と就労支援<br>2. 発達障害の理解と支援<br>3. 応用行動分析学を用いた子どもの理解と支援<br>4. カウンセリングの基本と保護者支援                                         | 小栗 貴弘（作新学院大学女子短期大学部幼児教育科専任講師）                                                                              | 6 時間 | 平成 30 年 8 月 1 日                      | 50 人  | 平 30-80011-507935 号 |
| 埼玉県<br>さいたま市 | 【遊びの中の学び】小学校学習指導要領の改訂で初めて「幼児期において自発的な活動としての遊び」という文言が入った。その遊びの中の学びについて考えていく。【子ども理解と保護者相談－カウンセリングマインドを使って－】保護者から子どものことを相談された時、子どもの言動の捉え方を専門性から考え、子どもへの対応について専門家としての助言が必要となる。カウンセリングマインドを実践的に学び、保護者対応に生かそう。                                                | 田澤 里喜（玉川大学准教授）<br>高橋 かほる（帝京短期大学教授）                                                                         | 6 時間 | 平成 30 年 7 月 7 日                      | 100 人 | 平 30-80011-507937 号 |
| 埼玉県<br>さいたま市 | 【身近な自然・社会環境を活用するの子ども資質・能力を育む工夫】「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を身近な自然・社会環境を活用してより良く育む工夫を探り出す。【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿とは】幼稚園教育要領改訂の経緯と基本方針を踏まえ、具体的な幼児の姿を話し合いながら、新たに示された「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」についての理解を深め、小学校教育との円滑な接続の在り方を考える。                                                  | 大澤 力（東京家政大学教授）<br>柿沼 芳枝（東京家政大学准教授）                                                                         | 6 時間 | 平成 30 年 7 月 7 日                      | 100 人 | 平 30-80011-507938 号 |
| 埼玉県<br>さいたま市 | 【幼稚園教育要領の改訂】幼稚園教育要領改訂において明確化された幼稚園教育において育みたい 3 つの資質・能力及び幼小接続を念頭にいた幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を中心に新幼稚園教育要領について解説を行う。【子どもの心と言葉】近年、子どもたちの言葉が貧弱になっている。言葉の危機は心の危機。言葉がうまれてくる乳幼児期、言葉を豊かに育んでいくためには、どうしたらよいか。物語の役割と併せて考える。                                                 | 伊澤 永修（新渡戸文化短期大学准教授）<br>佐々木 由美子（東京未来大学教授）                                                                   | 6 時間 | 平成 30 年 7 月 14 日                     | 100 人 | 平 30-80011-507939 号 |
| 奈良県<br>奈良市   | 本講習は、国公立の区別なく、幼稚園教育に携わる教諭の多様なニーズに応じた講習、幼稚園教育における専門的な知識や技能の習得、幼稚園教諭としての資質向上のための意義ある講座とするため。本講習では、①子供の成長とともに保育者がどのように関わればよいのか。②子どもの成長過程における保育者の支援の在り方。③子どもの発達について、配慮すべき環境についてを講義予定です。                                                                     | 中野 信子（東日本国際大学特任教授）<br>大豆生田 啓友（玉川大学教授）<br>永淵 泰一郎（畿央大学准教授）                                                   | 6 時間 | 平成 30 年 7 月 24 日<br>平成 30 年 7 月 25 日 | 120 人 | 平 30-80011-507942 号 |
| 山口県<br>防府市   | 本講習は、「保育現場での質を高める」ことを目的として、<br>①これから求められる幼稚園教育<br>②一人一人の豊かな育ちを支える質の高い幼児教育を<br>③保育者間あるいは保護者との円滑な人間関係<br>などを中心に講義等を行います。                                                                                                                                  | 肥後 功一（島根大学大学院教育学研究科教授）<br>大豆生田 啓友（玉川大学教育学部乳幼児発達学科教授）<br>重村 美帆（宇部フロンティア大学短期大学部保育学科講師）<br>中邑 隆哉（岩国短期大学非常勤講師） | 6 時間 | 平成 30 年 7 月 23 日<br>平成 30 年 7 月 24 日 | 50 人  | 平 30-80011-507946 号 |
| 香川県<br>高松市   | 本講習では、多様化する社会に求められる保育者としてのキャリアをどのように形成していくことが望ましいのかについて、参加者同士の交流も図りながら、幼稚園教育要領改訂も踏まえて研修する。また、子どもや保育者の成長にとって重要となるレジリエンス（折れない心）の高め方についても学ぶ。                                                                                                               | 河邊 貴子（聖心女子大学教育学科教授）<br>川村 高弘（神戸女子短期大学幼児教育学科教授）                                                             | 6 時間 | 平成 30 年 8 月 7 日<br>平成 30 年 8 月 8 日   | 100 人 | 平 30-80011-507948 号 |
| 高知県<br>高知市   | ○日本の道徳や人権について、外国人の視点から学ぶ<br>○保幼小連携について、実践と意を学ぶ<br>○虐待を受けた子どもとの心の響き合いを学ぶ<br>○特別支援教育について、精神医療からのアプローチを学ぶ<br>○乳幼児の運動機能や遊びを学ぶ                                                                                                                               | 木下 光二（鳴門教育大学教職大学院教養養成特別コース教授）<br>野田 智洋（高知大学教育学部講師）                                                         | 6 時間 | 平成 30 年 7 月 30 日<br>平成 30 年 8 月 1 日  | 30 人  | 平 30-80011-507947 号 |
| 長崎県<br>長崎市   | ①幼児教育は文化的営みである。私たちは幼児教育の比較文化を通して、自国の幼児教育について振り返ったり、自明性を問い直したりすることができる。講習Ⅰでは日本の幼児教育が重視し強みでもある「見守る保育」の意味について学ぶ。②保育の質の向上に対する関心が世界中で高まっている。私たちは子どもの「今ここ」の姿からどのように保育を振り返り、どのように保育の質を高めたらいのか。講習Ⅱでは「安心度」「夢中度」という視点を用いて子どもを理解し、それに基づく実践を営むことで、保育の質を高める方法について学ぶ。 | 中坪 史典（広島大学大学院准教授）                                                                                          | 6 時間 | 平成 30 年 8 月 7 日                      | 100 人 | 平 30-80011-507936 号 |